

No. EA21-08-006-01

2021年7月21日

エコアクション21 環境経営レポート

期間2020年5月～2021年4月



目次

I	事業活動の規模	P 3
II	E A 2 1 推進体制	P 4
III	環境経営方針	P 4
IV	環境経営目標と実績	P 5
V	環境経営の取り組み計画と評価	P 6-7
VI	環境関連法規制の遵守状況	P 8
VII	代表者による全体評価と見直しの結果	P 8

I 事業活動

1) 事業者および代表者

事業者名 株式会社ミナト精機製作所
代表者名 代表取締役 新井崇広

2) 所在地および連絡先

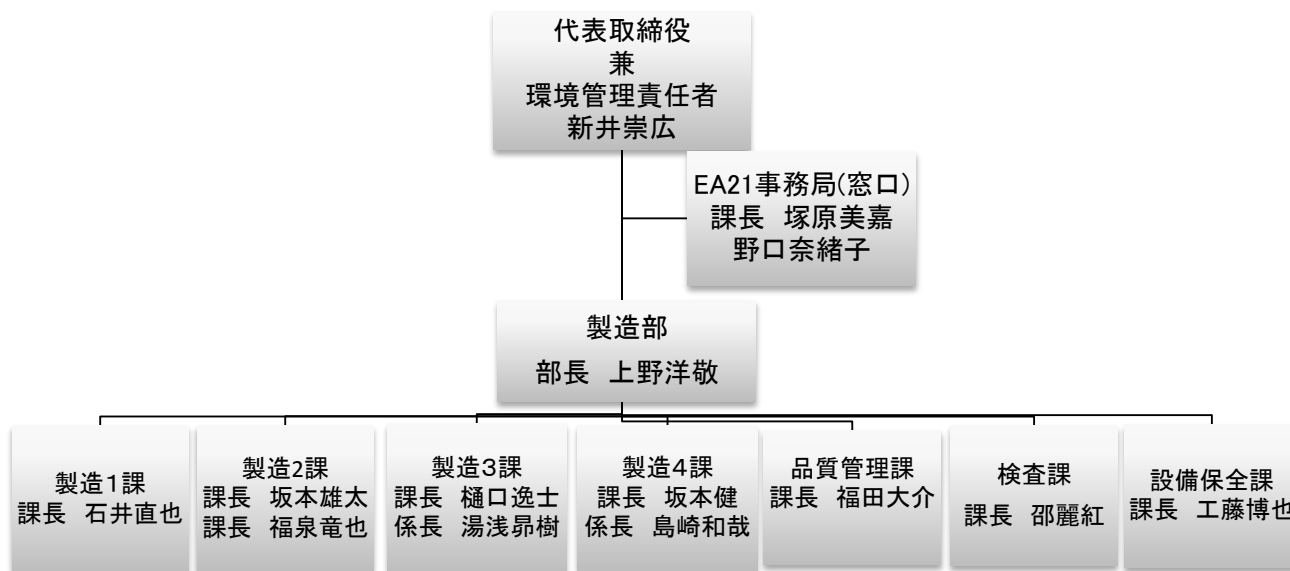
所在地 群馬県高崎市倉渕町三ノ倉町1019 電話 027-378-2097
環境窓口(推進室) 事務 経理課 塚原美嘉 野口奈緒子 FAX 027-378-3303

3) 業務内容および業務規模

自動車部品及び、その他の精密機械部品の機械加工
敷地面積 2,740㎡
従業員数 60名(2021年4月現在)

4) 対象範囲 本社工場:自動車部品及び、その他の精密機械部品の機械加工

II EA21推進体制



推進業務分掌

業務	分掌(役割、責任者)
代表者 環境管理責任者	代表取締役 新井崇広 ①環境方針を制定する。 ②EMS活動に必要な経営資源を準備する。 ③EMS活動の構築・運用に必要な情報を収集し、環境目標、EMS活動 全体の見直し是正処置を行う。 ④環境管理責任者として、環境委員会を統括する。 ⑤EMS活動の実績把握のための情報を提供する。
事務局(窓口)	事務 塚原美嘉 野口奈緒子 ①事務局として、環境管理責任者を補佐しEMS活動に関する窓口、及び実務全般を所管する。
環境委員会	①環境管理責任者は、各課長を5月11月に招集し環境委員会を開催する。 ②主な協議事項: 環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理。

株式会社ミナト精機製作所 環境経営方針

<基本理念>

株式会社ミナト精機製作所は、自動車部品及びその他の精密機械部品の生産活動において、「地域社会との共存共栄」を図るため、環境にやさしい企業をめざし、全従業員で活動を促進いたします。

<活動指針>

- 1 法令遵守により「環境汚染の予防と改善活動」を実行し、地域環境保全に努めます。
- 2 CO2排出の削減をめざし、省エネ・省資源活動を行うと共に水等の資源を大切に使用します。
- 3 工程不良品の削減、産業廃棄物削減を図ると共に、リサイクル化の推進を行います。
- 4 環境教育を実施し、従業員の環境意識高揚に努めます。
- 5 活動内容と結果を「環境経営レポート」として社外に公表します。

制定日：2008年7月1日
改定日：2019年5月1日
代表取締役 新井崇広



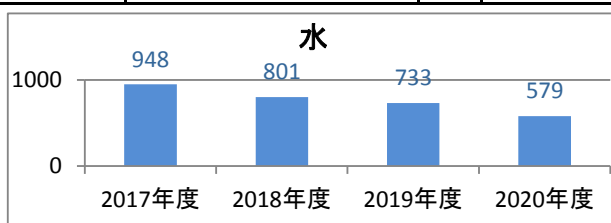
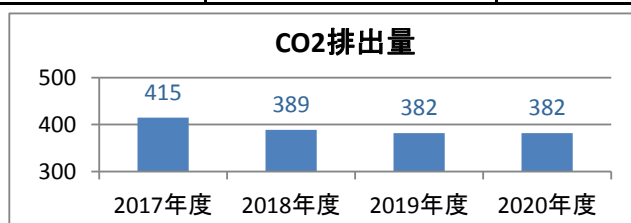
Ⅳ 環境経営目標とその実績&次年度の目標

2020年度（年間）の活動実績を下記の通り報告いたします。

<1> 基準年度と目標計画に対する実績比較

実績評価：○目標達成、×目標未達成

項目	単位	過去3年間の年間実績 (売上百万円あたり)			基準値	2020年度 実績	基準値 増減 (%)	実績 評価	2021年目標	
		2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	過去2年間 平均値	目標 基準値 2%減				
二酸化炭素排出量 エネルギー・資源	購入電力	kwh	760	755	743	749	729	-2.7	○	基準値比3%減
	軽油	ℓ	9.4	8.0	8.1	8.1	9.1	12.4	×	基準値比3%減
	灯油	ℓ	8.5	7.9	6.9	7.4	8.5	15.0	×	基準値比3%減
CO2排出量		Kg-CO ₂	415 (606,000)	389 (579,938)	382 (539,403)	386 (572,973)	382 (445,117)	-1.0	×	基準値比3%減 ()内は総量
項目	単位	過去3年間の年間実績			基準値	2020年度 実績	基準値 増減 (%)	実績 評価	2021年目標	
		2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 実績	過去2年間 平均値	目標 過去2年間 平均維持				
産業廃棄物	一般廃棄物 (従業員一人あたり)	kg	68.7 (3,090)	60.2 (3,250)	60.6 (3,636)	60.4 (3,443)	54.3 (3,258)	-10.1	○	過去2年間平均維持 ()内は総量
	金属類くず (売上百万円 あたり)	kg	648.2	732.8	744.0	738.4	657.0	-11.0	○	過去2年間平均維持
	廃油 (売上百万円あたり)	ℓ	19.0	19.3	18.4	18.8	22.1	17.7	×	過去2年間平均維持
水資源	水(従業員1人あたり)	m ³	21.1 (948)	14.8 (801)	15.7 (941)	15.3 (871)	9.7 (579)	-36.8	○	過去2年間平均維持 ()内は総量
項目	2019年度経営活動実績		2020年度経営活動計画		2020年度経営活動実績		評価	2021年目標		
製品及びサービス	1)加工工程を見直し、チップ寿命の改善を試みる		1)加工工程を見直し、チップ寿命の改善を試みる		実施達成		○	2020年度実績継続		
	2)工程不良の集計を元に品質確認会を実施		2)工程不良の集計を元に品質確認会を継続し、不良品削減に努める		休業期間があり生産数量が減少した影響もあり、金属くずが減少。品質確認会実施継続			2020年度実績継続		
化学物質使用料の抑制管理	1)MSDS管理、法規制内容を確認し使用。 2)油脂類廃油処理記録の管理		←2019年度実績維持		MSDS管理継続中 マニュアル管理の実施		○	2020年度実績継続		



<2> 2020年度評価

購入電力 (MWh) CO2排出係数は0.463kg-CO2(平成30年度排出量算定用)を適用

1. 二酸化炭素排出量の削減

電力は2.7%削減となり、目標の2%減を達成できました。

軽油の使用量は前年度に比べると減少したが、売上も下がったため増加となりました。

CO2排出量は電力以外が増加したことで-1%という結果になり、目標達成しませんでした。

2. 産業廃棄物排出量の削減

一般廃棄物は休業期間が影響して大幅に削減となりました。

廃油は総数は減少したが、売上減少が影響して増加となりました。

金属くずは生産数量の減少により大幅に減少しました。

3. 水資源投入量の削減

日頃からの節水は継続。従業員あたりで換算しているため、休業期間の使用量減少に伴い減少しました。

4. 製品及びサービス

新型コロナウイルスの影響で生産数量が大幅に減少してしまいました。

5. 化学物質使用料の抑制管理

当社は化学物質は使用していませんが、新規に油脂類を購入する場合は、今後もMSDSを入手し従業員の安全と排油処理管理を継続致します。

V 環境経営の取組み計画とその評価及び次年度の取組

1. 環境経営の取組み計画と活動の評価は下記の通りです。

評価基準=○:取組効果あり△:取組効果少×:取組未達成

No.	取組項目	実績評価	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 使用電力の削減			
	①不在時、休憩時の消灯	不在時、休憩時の消灯は習慣化し、維持継続できました。	○	現状維持継続
	②手元スイッチ化推進	手元スイッチ化の推進により、必要な場所のみの電力使用で電力を削減できた。	○	随時実施
	③コップレサ-の効率化、エア-漏れ箇所の改善と効率化	IP-配管前年度に引き続き実施中。 IP-漏れチェックを実施	△	随時実施
	2. 灯油、軽油使用量削減	法規則通りの定期点検、使用前点検の推奨		
	①冬場の暖房効率化を試みる	寒い風が入らないようにドアや窓の開け閉めはこまめに行い、暖房の効率化を図ったが増加してしまった。	△	現状維持継続
②運送トラック、フォークリフトの定期点検、整備	法規則通りの定期点検、使用前点検の推奨	○	現状維持継続	
廃棄物排出量の削減	1. 一般廃棄物(可燃ゴミ)廃棄量削減			
	①備品の徹底使用	継続して備品の徹底使用、そして大切に使用するように朝礼にて呼びかけ実施をしました。	○	継続して呼びかけ実施
	②コピー紙の裏紙使用	裏紙使用の呼びかけ実施により、用紙の無駄は削減傾向にあり。	○	現状維持継続
	2. 産業廃棄物の削減			
	①金属くず(不良部品)の削減	製品手直しや品質確認会の実施により不良品廃却の削減に努めました。	○	不良削減活動継続
②廃油の削減	総量は減少したが、売上減少により増加となった。	△	現状活動継続	
水資源投入量削減	1. 生活水の節水			
	①節水を呼びかける看板の設置	節水意識も定着し、大幅に削減できた。	○	現状活動継続
	②節水関連グッズの検討	実施までには至らなかった。	×	継続して節水方法を検討する
	2. 水溶性切削液の効率			
	①水溶性切削液の濃度管理	切削油の濃度を可能なものは10%から7%にする。	○	現状活動継続
④廃液の濾過リサイクル	工程内ブロー加工後の切削液はすべての設備に切削液除去装置(遠心分離装置)を設置し切削液使用量削減を図っている。	○	現状活動継続	
製品及びサービス活動	①生産数量の減少に伴い不良品も減少し、金属類廃棄物は削減できた。	○	現状活動継続	
化学物質使用料の抑制管理	特定化学物質は使用していないが、今後も油脂類購入時はMSDS入手し・人体への安全性・廃棄時の処理方法等確認し対応をする。	○	現状活動継続、既存MSDSファイルの整理。	

2. 2020年度の取組み評価

1) CO2排出量の削減活動。

休業の影響で稼働台数も少なかったため、消費電力は減少しました。

目標と実績の数値を売り上げ百万円あたりで表すことにより、売上が減少が影響してCO2増加結果となったことは今後の課題となった。

減少傾向に転じにくい金属くずの減少が達成できたことは評価したい。

軽油の使用量は減少したが、売上も減少したため削減できなかった。

2) 産廃物排出量の削減活動。

鉄くずは生産変化に左右されるので、今回は減少。今後とも工程不良低減活動を継続していく。

廃油量は目標に対して増加してしまったので、今後とも濃度管理を継続。

3) 水資源削減活動。

休業期間が大きく影響し、大幅に削減できた。今後も節水を呼びかけ継続して活動する。

4) 活動開始時にファイル化したMSDSを現状に合わせ整理している。

3. 取組み状況

不良品廃却による廃棄物の削減と、不具合流出防止のによる客満足の向上を図り、改善活動を実施しています。

年度	2020年度													担当
月	活動施策													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
日々の工程不良品確認	朝礼時、前日から夜間に発生した工程不良品の報告と朝礼後の現品確認 流出不良防止と工程不良削減の改善活動に繋げる													各製造課 品質管理課
	毎朝朝礼及び朝礼後現品確認													
品質確認会	課毎に月1回 毎週火曜日 昼夜勤者(全員)参加	中止	中止	中止	8/4 1課	9/9 1課	10/8 1課	11/10 1課	12/8 1課	1/8 1課	2/16 1課	3/25 1課	中止	各製造課長 品質管理課
	◎直近の発生不良品の確認(現品或いは写真)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	◎不良率のデータ等を説明確認し、課毎品質改善活動に繋げる	中止	中止	中止	8/18 2課	9/15 2課	10/13 2課	11/17 2課	12/15 2課	1/21 2課	2/25 2課	3/31 2課	中止	
	◎工程パトロールの結果展開(是正要請とフォロー)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	◎品質管理の基本ルールの確認	中止	中止	中止	8/25 3課	9/24 3課	10/21 3課	延期	12/3 ・23 3課	延期	2/27 3課	3/12 3課	中止	
	◎現在の改善取組説明	×	×	×	○	○	○	○	○	△	○	○	×	
		中止	中止	中止	延期	9/1・ 29 4課	10/27 4課	延期	12/1 ・29 4課	延期	2/10 4課	3/17 4課	中止	
		×	×	×	△	○	○	△	○	△	○	○	×	

実績状況:○ 予定に対して概ね実行出来た △ 予定に対して遅れが目立った × 進捗なし

※新型コロナウイルスの感染拡大状況の中で中止の月がありました。

Ⅵ 環境関連法規制の遵守状況（まとめ）

1 当社に関連する環境関連法規等

<2021年4月末現在>

No.	法規制等の名称	管理内容	記録名：報告書	遵守状況
1	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検 保守点検を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検記録 11条検査記録 	遵法
2	騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設(空気圧縮機)の届出 届出内容の変更、追加の管理 	特定施設届出書	遵法
3	振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設(空気圧縮機)の届出 届出内容の変更、追加の管理 	特定施設届出書	遵法
4	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> 契約業者の違法行為の有無管理 マニフェスト伝票の保管、報告書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 処理業者との契約書 マニフェスト報告書 	遵法
5	70㍓排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> 適切な機器の管理 	<ul style="list-style-type: none"> 定期点検及び記録の保管 	遵法

2 違反・訴訟等の報告

- 環境関連法規制の違反はありません。
- 過去3年間、関係当局からの違反、訴訟等もありません。また、近隣地域等の方からの苦情・指摘及び訴訟はありません。引き続き、環境関連法規制を順守し、地域環境保全活動に努めます。

Ⅶ 代表者による全体の評価と見直し

- CO2排出量は、減産・休業の厳しい状況下でも、削減できたことは評価したい。原単位換算なので、売上減少が排出量に大きく影響する事が今回の結果でよくわかった。
- 廃油は減少の取り組みを継続させているが大幅に増加。売上減少が影響する結果となった。
- エア圧効率化改善は移設時に随時実施中だが、工場全体の漏れ修繕に至らなかった。
- 製品及びサービス、化学物質使用料の抑制管理では特に問題なしと判断する。
- 軽油使用量は増加してしまったが、生産数量の減少により、納品の効率化が難しかった。引き続き配送ルートを把握し、効率よく配送できるよう努めてほしい。
- 廃棄物置場の設置・管理を継続。

次年度(2021年度)の取り組みに向けて

①CO2削減、産業廃棄物削減

- 「環境経営計画書」は、CO2削減等を含めた、具体的実施項目を検討し作成。

②製品及びサービス、化学物質使用料の抑制管理

- 工程不良、顧客クレーム改善は継続的に改善する。品質改善活動は引き続き継続してほしい。
- MSDS管理ファイルの整理

③環境上の非常事態への想定訓練の実施。

会議等で話し合い、活動計画書を作成し全員で推進していくこと。